

令和3年度 介護人材定着化研修事業委託業務 質問と回答

質問 1

仕様書の「④元気高齢者など地域人材の介護助手活用促進研修」について、研修講師は札幌市の指定する市内事業者と考えられるが、たとえば、場の進行（ファシリテーター）を受託者が担ったり、パネル・ディスカッション形式で運営したりする方法は柔軟に提案内容に盛り込んでよいか。

回答 1

お見込みのとおりです。

質問 2

仕様書 P5、4 - (4) ①について、研修内容の記録とありますが、オンライン形式の場合は、写真データは講義風景のスクリーンショット等でもよろしいでしょうか。また、研修内容の記録として、講義のアーカイブデータのご提出はせず、実施概要を記述したものを取りまとめ、ご提出する形でも問題ございませんでしょうか。

回答 2

写真データについて、お見込みのとおりです。また、記録についてアーカイブデータまでを求めるものではございません。

質問 3

差支えない範囲で、昨年度事業の各セミナーの実施回数と参加者数の実績をご教示いただければ幸いです。

回答 3

下記のとおりです。

研修名	令和2年度	
	回数	受講者数
雇用管理責任者	3回	76人
外国人介護人材（制度理解）	1回	9人
外国人介護人材（受入実践）	1回	14人
介護現場におけるクレーム対応・ハラスメント対策	2回	44人
元気高齢者など地域人材の介護助手活用促進	2回	15人
介護現場における AI・ICT 普及	1回	27人
合計	10回	185人